

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 宮下 泰知

TEL 06-6209-8500

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	19,826	13.2	1,007	20.2	1,062	3.1	857	36.3
26年3月期第1四半期	17,512	5.4	838	134.1	1,030	196.4	628	507.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 827百万円 (△47.3%) 26年3月期第1四半期 1,569百万円 (73.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	42.57	42.51
26年3月期第1四半期	31.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	81,123	44,200	52.8
26年3月期	82,342	43,634	51.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 42,842百万円 26年3月期 42,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	15.5	1,300	14.5	1,400	△1.7	900	3.8	44.69
通期	84,000	12.0	3,100	32.8	3,300	22.4	1,800	21.0	89.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	20,150,400 株	26年3月期	20,150,400 株
27年3月期1Q	12,161 株	26年3月期	12,034 株
27年3月期1Q	20,138,319 株	26年3月期1Q	20,138,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心とする先進国では緩やかな景気回復が続いたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。一方、国内経済は、消費税増税後の内需の落ち込みから持ち直しつつありますが、円安・原油高によるコスト上昇が製造業・素材業種の収益圧迫の懸念要因となっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。また、ロジンをはじめとする原材料価格の上昇が、収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や、経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大により、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は198億26百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は10億7百万円（同20.2%増）、経常利益は10億62百万円（同3.1%増）、四半期純利益は8億57百万円（同36.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、消費税増税の影響もあり需要が減少しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では、国内での原材料価格上昇による収益圧迫もありましたが、中国を中心としたアジア地域における拡販が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は49億42百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は2億72百万円（同22.4%増）となりました。

<化成品事業>

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、電子媒体の普及で需要が縮小傾向にあることから出版分野で低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の印刷インキ用樹脂は低調に推移しましたが、粘着・接着剤用樹脂が欧州地域で伸張し、売上高は119億39百万円（前年同期比23.5%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇により収益性が悪化しておりますが、欧州地域での拡販等により、5億80百万円（同46.9%増）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンや車載向けが需要を牽引し、中でも低価格スマートフォンの需要は好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、高機能スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂や電子材料用配合製品が振るわず、売上高は28億73百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント損失は46百万円（前年同期はセグメント利益48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億19百万円減少し、811億23百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が11億92百万円、投資有価証券が4億36百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が4億8百万円、たな卸資産が10億57百万円、有形固定資産が4億65百万円減少したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が10億8百万円、賞与引当金が5億5百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ17億85百万円減少し、369億23百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ5億65百万円増加し、442億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成26年5月7日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を、期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,668	7,860
受取手形及び売掛金	28,167	27,758
商品及び製品	8,530	7,922
仕掛品	1,069	1,205
原材料及び貯蔵品	7,878	7,293
繰延税金資産	579	448
その他	1,670	935
貸倒引当金	△157	△156
流動資産合計	54,406	53,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,933	7,735
機械装置及び運搬具（純額）	7,828	7,414
土地	4,724	4,723
建設仮勘定	266	428
その他（純額）	318	304
有形固定資産合計	21,072	20,606
無形固定資産		
のれん	134	116
その他	540	514
無形固定資産合計	674	630
投資その他の資産		
投資有価証券	5,480	5,916
繰延税金資産	193	188
その他	523	519
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	6,189	6,617
固定資産合計	27,936	27,855
資産合計	82,342	81,123

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,867	11,858
短期借入金	11,525	11,486
未払法人税等	272	392
未払消費税等	36	149
賞与引当金	989	484
役員賞与引当金	40	10
修繕引当金	-	10
設備関係支払手形	212	140
その他	3,103	2,925
流動負債合計	29,047	27,457
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,079	1,892
繰延税金負債	968	1,032
修繕引当金	37	58
退職給付に係る負債	1,015	939
資産除去債務	88	88
その他	470	454
固定負債合計	9,660	9,466
負債合計	38,708	36,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	32,599	33,194
自己株式	△11	△11
株主資本合計	39,066	39,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	1,657
為替換算調整勘定	1,714	1,272
退職給付に係る調整累計額	256	250
その他の包括利益累計額合計	3,342	3,180
新株予約権	27	27
少数株主持分	1,199	1,331
純資産合計	43,634	44,200
負債純資産合計	82,342	81,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	17,512	19,826
売上原価	13,815	15,975
売上総利益	3,697	3,851
販売費及び一般管理費	2,858	2,844
営業利益	838	1,007
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	44	51
不動産賃貸料	29	30
為替差益	136	-
その他	67	94
営業外収益合計	279	178
営業外費用		
支払利息	62	62
持分法による投資損失	1	8
為替差損	-	41
その他	23	10
営業外費用合計	87	122
経常利益	1,030	1,062
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	-	※ 445
特別利益合計	0	445
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,028	1,507
法人税、住民税及び事業税	108	332
法人税等調整額	259	134
法人税等合計	367	466
少数株主損益調整前四半期純利益	661	1,040
少数株主利益	32	183
四半期純利益	628	857

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	661	1,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	214	286
為替換算調整勘定	689	△484
退職給付に係る調整額	-	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△7
その他の包括利益合計	908	△212
四半期包括利益	1,569	827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,441	695
少数株主に係る四半期包括利益	128	131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

連結子会社である厦門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にもなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,699	9,665	3,080	17,445	66	17,512
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24	—	24	6	30
計	4,699	9,689	3,080	17,470	73	17,543
セグメント利益又は損失(△)	222	395	48	666	△2	664

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	666
「その他」の区分の損失(△)	△2
全社費用の配賦差額(注)1	219
営業外損益(注)2	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	838

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,942	11,939	2,873	19,754	72	19,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	—	25	5	30
計	4,942	11,964	2,873	19,779	77	19,857
セグメント利益又は損失(△)	272	580	△46	807	5	812

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	807
「その他」の区分の利益	5
全社費用の配賦差額(注) 1	285
営業外損益(注) 2	△90
四半期連結損益計算書の営業利益	1,007

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。